

2019年度（令和元年度）広島市立大学卒業式  
情報科学部長メッセージ

皆さん、情報科学部卒業、情報科学研究科修了おめでとうございます。

今日は、皆さんが待ち望んでいた卒業式です。皆さんのご両親も心待ちされていたでしょう。今日で、広島市立大学を卒業・終了し、新たな旅立ちを迎えることとなります。今年度の卒業式は、新型コロナウイルスの感染症拡大に伴い、規模を縮小して実施しますが、将来、振り返ってみれば、特別な思い出として残るでしょう。

皆さんは、いままでは大学という枠組みのなかで学生生活を送ってきましたので、ご両親だけでなく、大学の教職員にも見守られてきました。これからは、社会で自立するために企業などで働いて給与を得て生活していく必要があります。しかしながら、社会で活躍し社会に貢献できれば、周りの方々から高く評価され、さらなる活躍の場が与えられます。つまり、頑張りさえすれば自分の人生は自分の手で切り開いていくことができるわけです。

社会では、成功も失敗も、責任は皆さん自身が持つこととなります。努力して報われるのも自分だし、怠けて失敗するのも自分です。非常に自由ではあるけれど、それだけに真剣に取り組まなければなりません。でも、心配は無用です。皆さんは広島市立大学での勉学や課外活動を一生懸命、頑張ってきました。その気概と経験があれば、どんな困難なことでもきっと乗り越えることができると思います。

「科学と芸術を軸に世界平和と地域に貢献する国際的な大学」は、広島市立大学の建学の基本理念です。この理念は忘れないようにしてください。また、進路説明会において皆さんに贈りました「鶏口牛後」という故事に由来する格言も記憶しておいてください。大きな集団で使われる者ではなく、小さな集団の長になりなさいという意味であり、リーダーになることを勧めたものです。広島市立大学で学んだ経験がきっと社会で活かせるでしょう。

ところで、皆さんには、広島市立大学で学生生活を送っている間に、自分の将来に向けて抱いた希望や定めた目標はありませんか。卒業・修了にあたっ

て、皆さんにいつでも覚えておいてほしい大事なことがあります。それは、「絶対に希望を捨てず、目標を失わない」ということです。どんなに辛いことがあっても希望を捨てないようにしてください。また、人生を忘れてしまうようなものすごく嬉しいことがあっても、決して目標を失わないようにしてもらいたいのです。希望を捨てず、かつ目標を持って努力し続けるならば、時間はかかるかもしれませんが、希望と目標は必ず実現するからです。

皆さんの新しい人生の門出にあたり、広島市立大学で得た知識と経験を活かして有意義な人生を歩んでいただきたいと念願し、私のお祝いメッセージといたします。

2020年（令和2年）3月23日

公立大学法人広島市立大学 情報科学部長・情報科学研究科長

角田 良明